

みんながしあわせに暮らせる長井
～ずっと笑顔あふれるまち～



長井市長 内谷 重治

目次

◎これまでの長井市の取り組み	・・・ 3
◎長井市の財政見通し	・・・13
◎長井市人口の推移と予測	・・・16
◎長井市第六次総合計画 - みんながしあわせに暮らせる長井 -	
基本目標① 住みやすく住み続けたくなるまちづくり	・・・18
基本目標② 安心して健やかに暮らせるまちづくり	・・・20
基本目標③ 夢を育み元気に活躍できるまちづくり	・・・25
基本目標④ 産業の活力あふれるまちづくり	・・・28
基本目標⑤ とともに創る持続可能なまちづくり	・・・31
◎長井市が目指す未来 - 次世代を担う若者に選んでもらえる長井市 -	・・・34

これまでの長井市の取り組み

◇ 国の「地方創生関連の交付金」を積極的に活用した事業の実施（総括表）

＜採択実績＞ 「地方創生関連の交付金」総額（平成28年～）※ 令和10年度まで

（単位：億円）

＜交付金メニュー＞	① ＜総事業費＞	② ＜交付決定額＞	③ ＜一般財源＞	④ ＜特別交付税措置＞（※1）	（③-④） ＜実質負担額＞
地域未来推進型 （旧地方創生推進タイプ含む）	74.9	37.9	37.0	28.6	8.4
うち （旧地方創生拠点整備タイプ）	（24.6）	（12.3）	（12.3）	（約5.0）	（7.3）
デジタル実装型	3.4	1.7	1.7	—	1.7
地域防災緊急整備型	0.3	0.2	0.1	0.1	0
＜合計＞	78.6	39.8	38.8	28.7	10.1

（※1） 特別交付税措置とは… 国が地方自治体の特別な事情（取組等）に対して追加配分される財源

これまでの長井市の取り組み

◇ 国の「地方創生関連の交付金」を活用した 主な事業 (ソフト・ハード)

(単位:億円)

<交付金メニュー>	<主な事業>	<事業期間>	<総事業費>	<うち交付金>
地域未来推進型 (旧地方創生推進タイプ含む)	「旧長井小学校第一校舎」を核とした交流・観光拠点の形成事業	H28～R2	2.4	1.2
	「やまがたアルカディア観光局」を中心とした観光地域づくり推進事業	R1～R5	3.7	1.8
	芸術・文化を活かした交流人口・関係人口拡大事業	R3～R7	3.6	1.8
	「スマートシティ長井」実現事業	R3～R7	7.5	3.7
	「くるんと」を核としたまちなかにぎわい創出事業	R5～R9	6.1	3.0
	「マラソン」を中心とした生涯活躍のまち推進事業	R7～R9	3.5	1.7
	「まつりイベント」などの四季と文化を活かしたにぎわい創出事業	R8～R10	4.3	2.1
うち (旧地方創生拠点整備タイプ)	旧長井小学校第一校舎整備事業	H29	3.2	1.6
	(第1期) タス再整備事業	R3	4.8	1.2
	(第2期) タス再整備事業	R5～R6	15.0	7.5
デジタル実装型	「マイナンバー活用」のための環境構築事業	R5	1.2	0.6
地域防災緊急整備型	災害支援車・簡易トイレの整備事業	R7～R8	0.3	0.1

これまでの長井市の取り組み

◇ 主なハード整備 ①（平成24年度～令和6年度）

国庫補助の積極活用、交付税措置が見込める「有利な起債」充当により財源捻出

※「有利な起債」とは、自治体が借入れる地方債のうち、後年度に国からの財政支援が大きい借入
(返済額の一部が交付税として措置)

(単位:億円)

<事業期間>	<主なハード整備>	<総事業費>	<国庫補助>	<地方債>	<その他財源>	<一般財源>
H24	長井小学校新体育館整備	6.1	1.8	4.1	0.2	0
H24～H26	生涯学習プラザ運動公園整備	9.4	4.5	4.5	0.1	0.3
H24～R1	市内小学校大規模改修等	16.9	3.9	11.8	0.2	1.0
H26～H28	道の駅観光交流センター整備	9.1	3.6	4.9	0.1	0.5
H27～H29	あやめ公園運動場整備(球場、テニスコート)	6.8	2.7	2.9	1.0	0.2
H29～H30	旧長井小学校第一校舎耐震改修等	8.6	2.0	6.3	0.1	0.2
	防災ラジオ屋外拡声装置整備等	4.6	0	4.3	0	0.3
H30～R1	長井小学校新管理棟整備	5.7	0	5.5	0.2	0

これまでの長井市の取り組み

◇ 主なハード整備②（平成24年度～令和6年度）

国庫補助の積極活用、交付税措置が見込める「有利な起債」充当により財源捻出

（単位：億円）

<事業期間>	<主なハード整備>	<総事業費>	<国庫補助>	<地方債>	<その他財源>	<一般財源>
R1	保育所等整備(白山、おひさま、星の子)	4.5	4.0	0.5	0	0
R1～R2	長井市役所新庁舎・長井駅移転整備	53.9	1.9	51.0	0.7	0.3
R1～R2	長井市文化会館大規模改修	15.9	0	15.5	0	0.4
R2	給食共同調理場整備	11.2	2.5	8.6	0.1	0
R3～R5	市内中学校大規模改修・空調設備整備等	9.2	3.0	6.2	0	0
	タスビル改修	22.1	10.0	11.9	0	0.2
	遊びと学びの交流施設「くるんと」整備	41.5	19.2	21.0	1.2	0.1
R3～R6	市内小学校大規模改修・空調設備整備等	7.7	2.7	5.0	0	0
R6	生涯学習プラザ施設長寿命化	1.6	0.8	0.8	0	0
	<合計>	234.7	62.6	164.7	3.9	3.5

長井市役所新庁舎・長井駅

- 旧本庁舎は築60年以上経過し、防災機能、耐震性能が不足。また市役所機能が市内6か所に分散されているという課題も抱えていた。
- そうした課題の解決を図るとともに、併せて都市機能の核となる庁舎と鉄道駅を合築することで、中心市街地と周辺地区を公共交通で結ぶ「コンパクトプラス・ネットワーク」推進への効果を期待し、令和3年3月に鉄道駅と一体となった“**全国初**”の庁舎が完成。

工期

- ①建築工事 令和元年7月～令和3年3月
- ②外構工事 令和2年5月～令和3年9月

事業費

約54億円（設計及び整備費等）

主な財源

市町村役場機能緊急保全事業債、**地域活性化事業債**、地方創生拠点整備交付金 等

施設概要

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造3階（一部4階）
敷地面積：15,689.48㎡
延床面積：8,695.03㎡（うち庁舎：8,319.50㎡）



遊びと学びの交流施設「くるんと」

- 長井駅に近く、市役所に隣接する**グンゼ工場跡地にグンゼ開発(株)**が建設、完成後に市が買い取って運営する官民連携（PPP）の手法で、子育て世代活動支援センターと市立図書館が一体となった公共複合施設を建設。
- 自宅、職場・学校に次ぐ「第3の居場所（サードプレイス）」として、立ち寄りやすく、誰もが居心地の良さを実感できる空間として、西置賜地域のシンボルとなる滞在型交流施設（長井市遊びと学びの交流施設「くるんと」）を整備。

工期

令和3年10月～令和5年7月

事業費

約41億8,000万円

・グンゼ開発(株)と長井市との間で公有財産売買契約を締結。

主な財源

都市構造再編集中支援事業**補助金**
(国土交通省)

施設概要

構造：鉄骨造 地上1階（一部2階）建て

敷地面積：23,351㎡

延床面積：5,746.08㎡



くるんと（あそびば）



イベントの様子



くるんと（図書館）

延べ来館者数 **83万人**突破！※R8.3月末現在
遊びと学びの交流施設「くるんと」



外観

タスビル

- 昭和62年竣工。コンベンション、宿泊、飲食、フィットネス等の機能を備えた西置賜地域の拠点施設。
- 令和3年度及び令和5年度の二度にわたる大規模改修を実施し機能を強化（総事業費：約22億円）
- タスパークホテルを改修し、飲食やアクティビティ、コンベンション、宿泊機能等を強化し、産業拠点・観光利用等による消費拡大を図る。

工期

第1期：令和3年4月～令和4年3月

第2期：令和5年8月～令和6年4月

事業費

約22億4,000万円

主な財源

デジタル田園都市国家構想交付金等

施設概要

構造：鉄骨造 鉄筋コンクリート造、地上9階

延床面積：15,469.988㎡



7F 客室



1F 和食レストラン



4F アスレチック・浴室



給食共同調理場

- 給食共同調理場は昭和42年に開設され、施設は築50年以上が経過し老朽化が進んでいたことから、新調理場の整備は急務となっていた。
- 新調理場では、学校給食に加え、**新たに幼児給食の提供も開始**。国の学校給食衛生管理基準に沿ったドライシステムを導入し、炊飯施設とアレルギー対応施設を新設。
- また、「**食に関わる学びの場**」として造られており、調理作業の見学スペースや、試食もできる会議室を設けるなど、食育を複合的に体験できる環境を整備。

工期

令和2年3月～令和3年3月

事業費

約38億3,000万円
(建設整備費、運営費含む)

整備手法

PFI方式

(プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略称)
民間の力を活用した施設整備、運営を行うこと
(事業期間: 令和元年8月～令和18年3月)

施設概要

構造: 鉄骨造 地上2階
延床面積: 2,501.92㎡



調理場見学ホール



外観



学校給食 献立例



幼児給食 献立例

公立置賜長井病院

- 公立置賜長井病院は、昭和45年に長井市立総合病院として整備され、平成12年からは公立置賜総合病院の**サテライト医療施設**として、回復期及び慢性期医療を提供してきましたが、施設の老朽化が進んでいたことから、令和4年度にコンパクト化・効率化した新病院を整備。
- 新長井病院は、**地域医療連携を強化**するため、在宅医療機能（訪問看護ステーション、地域包括支援センター、地域在宅医療連携推進室）を合築し、「住み慣れた自宅や施設」でだれもが医療サービスや介護サービスを安心して受けられる病院として整備されました。

工期

令和元年11月～令和4年10月

事業費

約39億9,000万円

主な財源

国庫補助 約8億4,000万円

施設概要

構造：鉄筋コンクリート造 地上2階
延床面積：4,293.18㎡



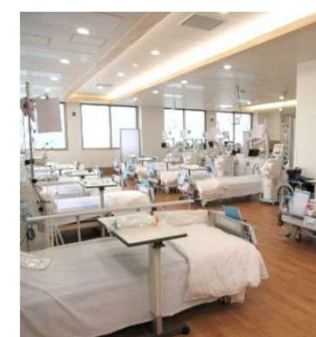
外観



総合受付



外来



人工透析室

長井市民文化会館

- 長井市民文化会館は昭和49年に建設され、長年、長井市の芸術文化の拠点となっていました
が、築45年が経過し老朽化が進んでいたことから、耐震化工事も含めた大規模改修に着手。
- 改修工事により、新たにエレベーター設置や館内の段差解消など、**ユニバーサルデザインに基
づく施設に生まれ変わり**、ホールはゆったり座れる座席への全席取り換えをはじめ、空調設備や
舞台装置等の更新などにより、芸術文化鑑賞の質を高めるための空間づくりを実施。

工期

令和元年6月～令和2年7月

事業費

約15億9,000万円

主な財源

公共施設等適正管理推進事業債等

施設概要

構造：鉄筋コンクリート造
地上3階、一部地下1階（機械室）
延床面積：3,990㎡



ホール

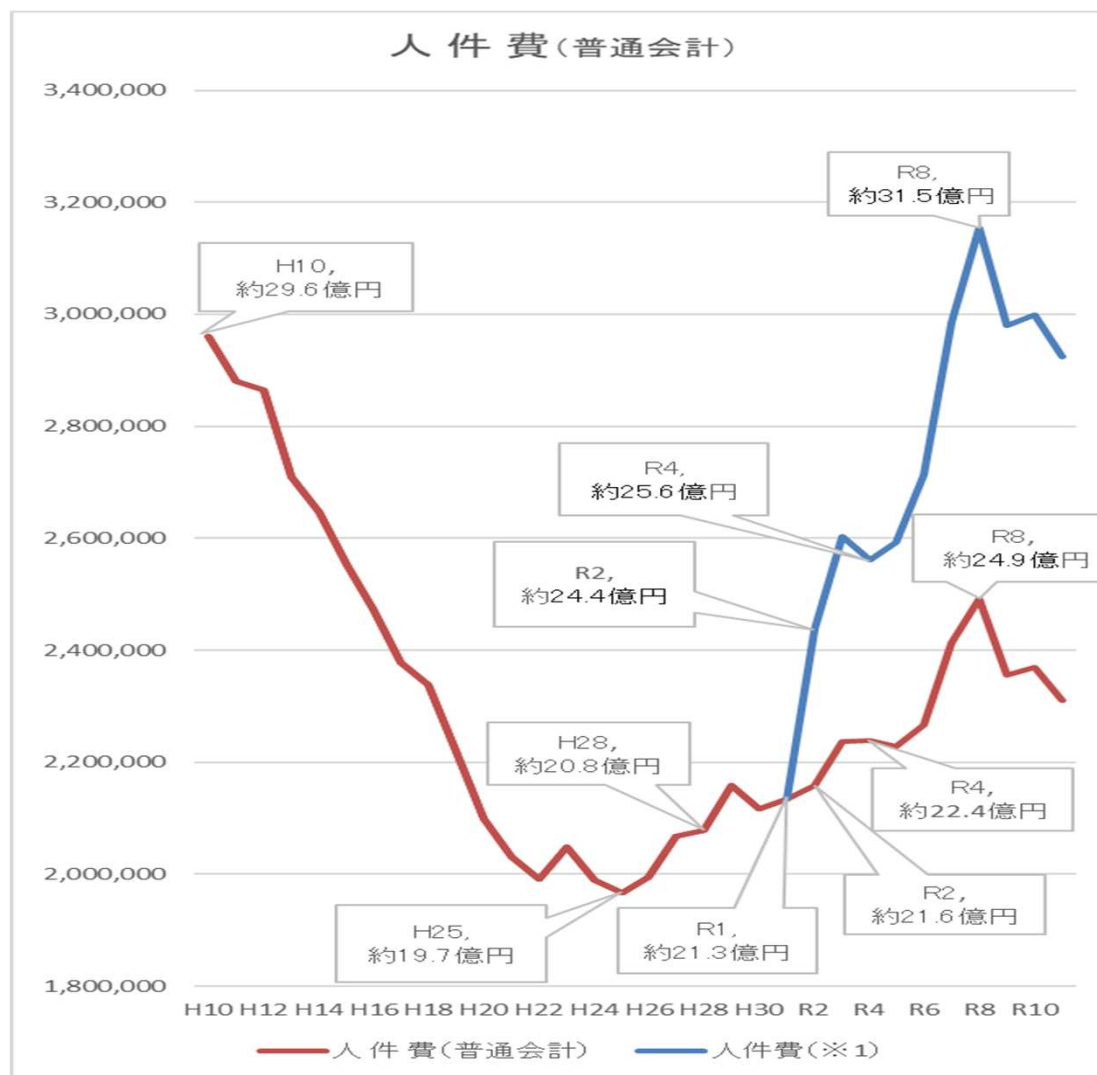


ホワイエ



外観

長井市の財政見通し



※1 令和2年度以降は、地方公務員法改正により、会計年度任用職員人件費を加えた人件費。ただし、置賜広域病院企業団人件費は除く。

※1 令和2年度は、庁舎建設等の事業費支弁人件費を加算。

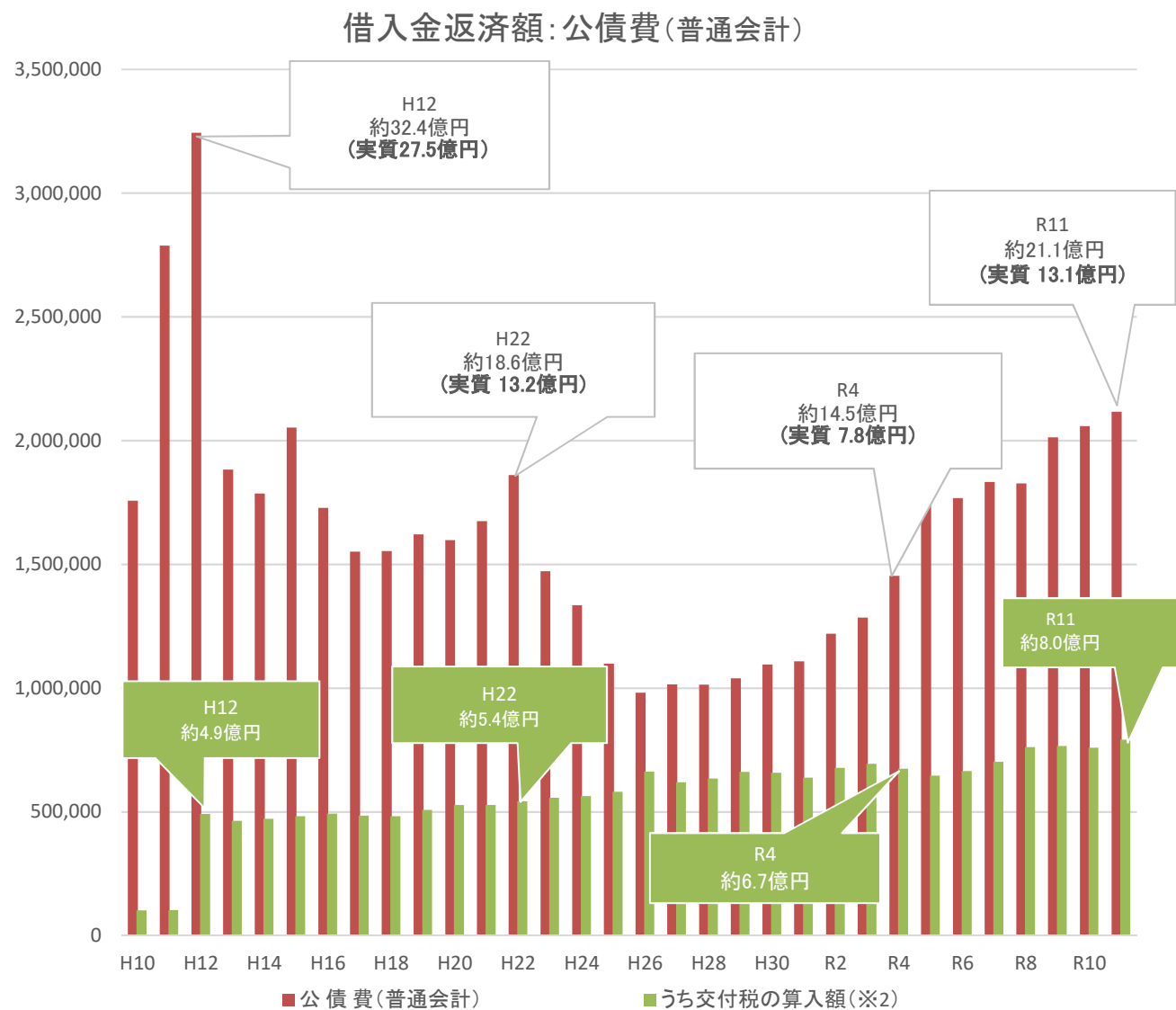
職員数(各年度4月1日時点)

【普通会計】

年度	正職員数(人)
H10	322
H11	316
H12	299
H13	290
H14	282
H15	271
H16	262
H17	260
H18	247
H19	227
H20	219
H21	221
H22	225
H23	225
H24	228
H25	229
H26	231
H27	233
H28	238
H29	239
H30	241
R1	260
R2	258
R3	257
R4	257
R5	256
R6	259
R7	250

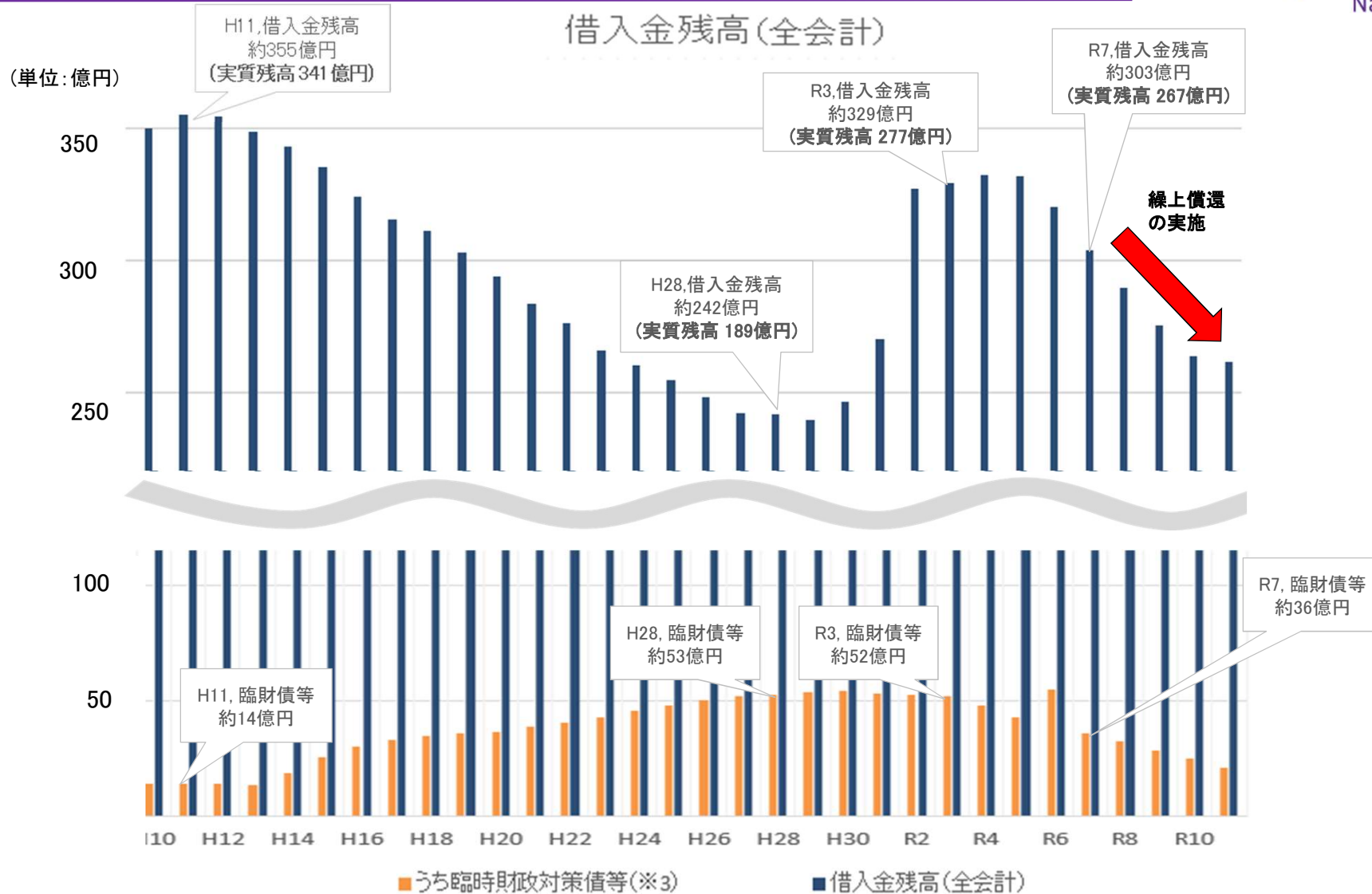
注：正職員数には、水道事業、公共下水事業、農業集落排水事業、浄化槽事業、国民健康保険事業、老人保健事業、介護保険事業、訪問介護事業、後期高齢者医療事業及び病院事業に属する職員を除く。

長井市の財政見通し



※2 平成10年度及び平成11年度は、交付税算入額のうち、臨時財政対策債等のみ計上。

長井市の財政見通し



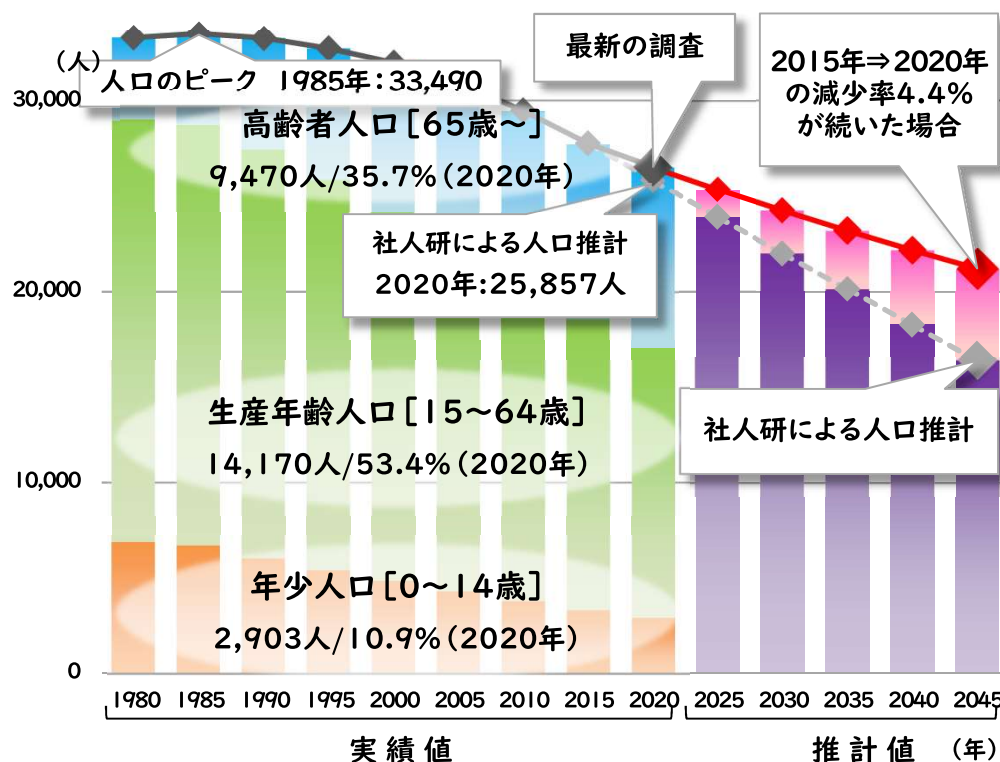
※3 臨時財政対策債(臨財債)とは

・・・地方財政収支の不足額を補てんするため、特例として発行した地方債(借金)。
その元利償還金相当額は、全額交付税に算入される。

長井市人口の推移と予測

(1) 人口の推移 (令和2年国勢調査 山形県の概要より)

◇長井市の人口推移



◇近隣市町との人口増減比較

	2010年⇒2015年		2015年 人口 (人)	2015年⇒2020年		2020年 人口 (人)
	減少数 (人)	減少率 (%)		減少数 (人)	減少率 (%)	
長井市	△1,716	△5.8	27,757	△1,214	△4.4	26,543
米沢市	△3,448	△3.9	85,953	△4,701	△5.5	81,252
南陽市	△1,373	△4.1	32,285	△1,865	△5.8	30,420
高畠町	△1,143	△4.6	23,882	△1,419	△5.9	22,463
川西町	△1,562	△9.0	15,751	△1,193	△7.6	14,558
白鷹町	△1,139	△7.4	14,175	△1,285	△9.1	12,890
飯豊町	△639	△8.0	7,304	△691	△9.5	6,613
小国町	△994	△11.2	7,868	△761	△9.7	7,107

- 長井市の総人口は、1985年(昭和60)の33,490人をピークに減少傾向にあります。
- 国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の推計では、2040年(令和22年)には2万人を下回る予想となっていますが、**2020年(令和2年)の国勢調査では予想(25,857人)を上回る、26,543人となりました。**

長井市人口の推移と予測

(2) 2050年の地域別推計人口 (R5.12月 社人研公表データより作成)

◇県内市町村の推計 ※2020年からの減少率が低い順に表示

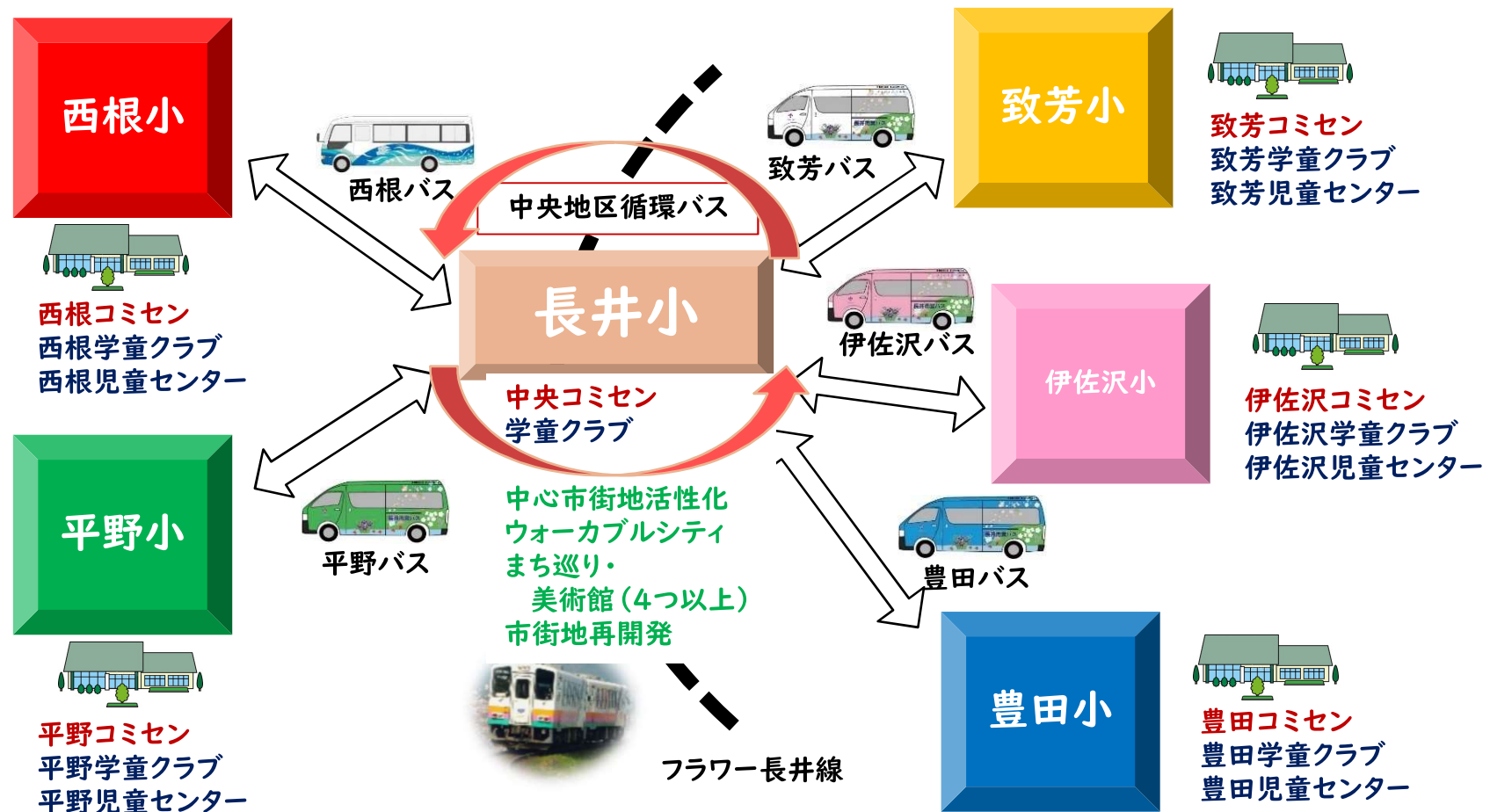
市町村名		2020年	2050年		市町村名		2020年	2050年	
		総人口(人) ※国勢調査	総人口(人) ※社人研 推計	減少率(%)			総人口(人) ※国勢調査	総人口(人) ※社人研 推計	減少率(%)
1	東根市	47,682	41,769	-12.4	19	飯豊町	6,613	3,508	-47.0
2	山形市	247,590	198,986	-19.6	20	白鷹町	12,890	6,660	-48.3
3	天童市	62,140	49,037	-21.1	21	村山市	22,516	11,556	-48.7
4	三川町	7,601	5,848	-23.1	22	川西町	14,558	7,107	-51.2
5	寒河江市	40,189	29,014	-27.8	23	舟形町	5,007	2,436	-51.3
6	山辺町	13,725	8,978	-34.6	24	最上町	8,080	3,830	-52.6
7	米沢市	81,252	53,112	-34.6	25	遊佐町	13,032	6,160	-52.7
8	南陽市	30,420	19,390	-36.3	26	大石田町	6,577	3,082	-53.1
9	長井市	26,543	16,881	-36.4	27	小国町	7,107	3,298	-53.6
10	鶴岡市	122,347	76,968	-37.1	28	金山町	5,071	2,317	-54.3
11	高畠町	22,463	13,826	-38.4	29	鮭川村	3,902	1,776	-54.5
12	酒田市	100,273	60,768	-39.4	30	朝日町	6,366	2,835	-55.5
13	河北町	17,641	10,671	-39.5	31	大蔵村	3,028	1,346	-55.5
14	中山町	10,746	6,417	-40.3	32	真室川町	7,203	3,176	-55.9
15	新庄市	34,432	19,662	-42.9	33	戸沢村	4,199	1,848	-56.0
16	庄内町	20,151	10,773	-46.5	34	尾花沢市	14,971	6,207	-58.5
17	上山市	29,110	15,550	-46.6	35	西川町	4,956	1,987	-59.9
18	大江町	7,646	4,059	-46.9	参考	山形県	1,068,027	710,838	-33.4

住みやすく住み続けたいくなるまちづくり

【社会基盤分野】



①-1「子どもまんなか社会」の推進、 コミュニティセンターを活用した協働・共創の地域づくり



- 中心市街地の持つ都市機能を強化し、暮らしやすいまちづくりを行います。
- 「子どもまんなか社会」を実現するため、小学校と各コミセンを一体化し、中心市街地を巡る全自動バス2台と各市民バス5台を結ぶネットワークの構築、また、フラワー長井線と米坂線を一体化し、30分に一本の列車を走らせることを目指します。
- 市とコミセンがこれまで以上に緊密に連携し、市民の皆様の自発的な活動を支援することで、地域課題の解決や新たな文化の創造が生まれる、協働のプラットフォームを構築します。

安心して健やかに暮らせるまちづくり

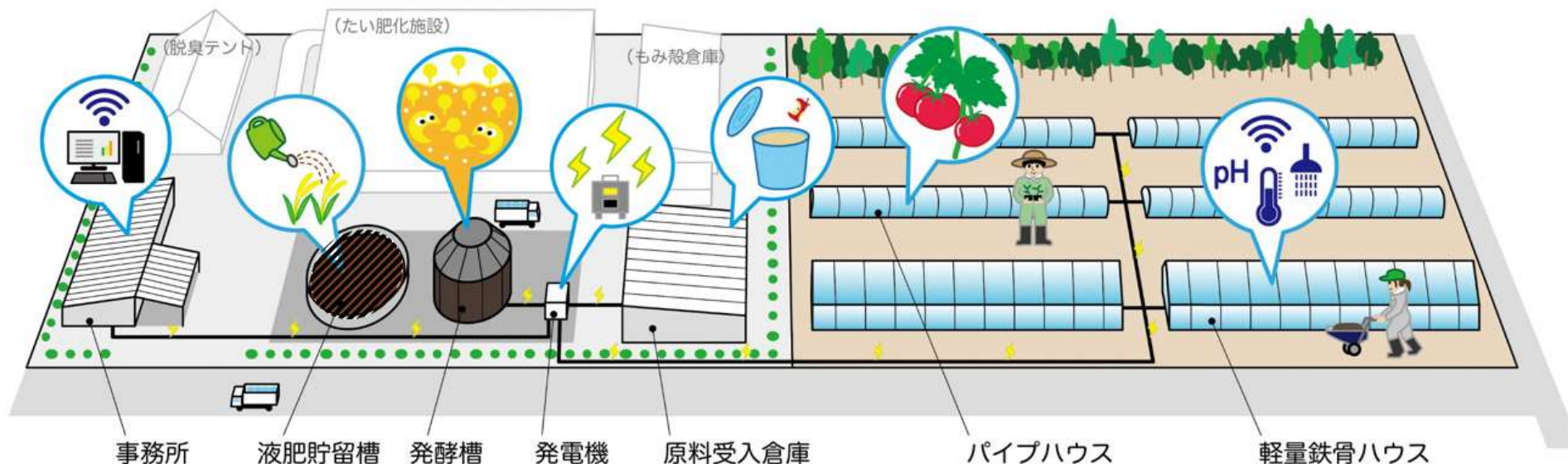
【健康・安全・安心分野】



②-1 カーボンニュートラルの推進

(仮称) バイオガス資源循環センター

みんなで耕そう！
ノウフク 連携園芸施設
NOUFUKU PROJECT



バイオガス発電設備を起点に「**新しい循環の輪**」を創出します！

- 令和6年度策定の「第4次長井市環境基本計画」に基づき、「循環のまち長井」を次世代につなげる「バイオガス発電」を核とした新たな循環型地域づくりに着手しています。
- 家庭等の食品廃棄物から電力とバイオ液肥を創出し、電力は「ノウフク連携の園芸施設」でのスマート農業に、液肥は学校給食米等の生産に活用します。収穫した作物を給食や直売所へ届けることで、地産地消と食育を一体的に推進します。
- このシステムにより、レインボープランの資源循環に加え、エネルギーの循環、障がい者の自立支援や新規就農者等の「人材」、普及型スマート農業による先端技術の循環「多様な循環」の創出を目指します。

全国初

アールイー ひゃく

長井市が提唱する『RE100給食』が令和8年5月からスタートしました！



給食米“も”「100%長井産」です！

おいしさそのままに、環境にやさしい給食へ

- RE100給食とは、以下の要件を満たす「持続可能な次世代の給食」です。
 - ① 毎日の給食に長井産の「食材」を使用していること
 - ② 毎日の給食は長井産の「再生可能エネルギー電力」で調理されていること
 - ③ 調理場や学校から出る「生ごみ」を資源循環により農地に還元すること
- 食材と電力の「地産地消」から「食育」や「郷土愛の醸成」も図ります。

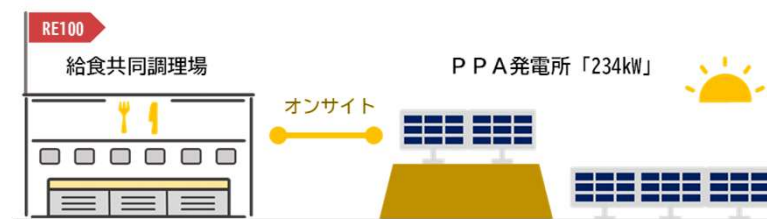
アイデア

国際的な取り組み(考え方)を給食に取り入れる

契機

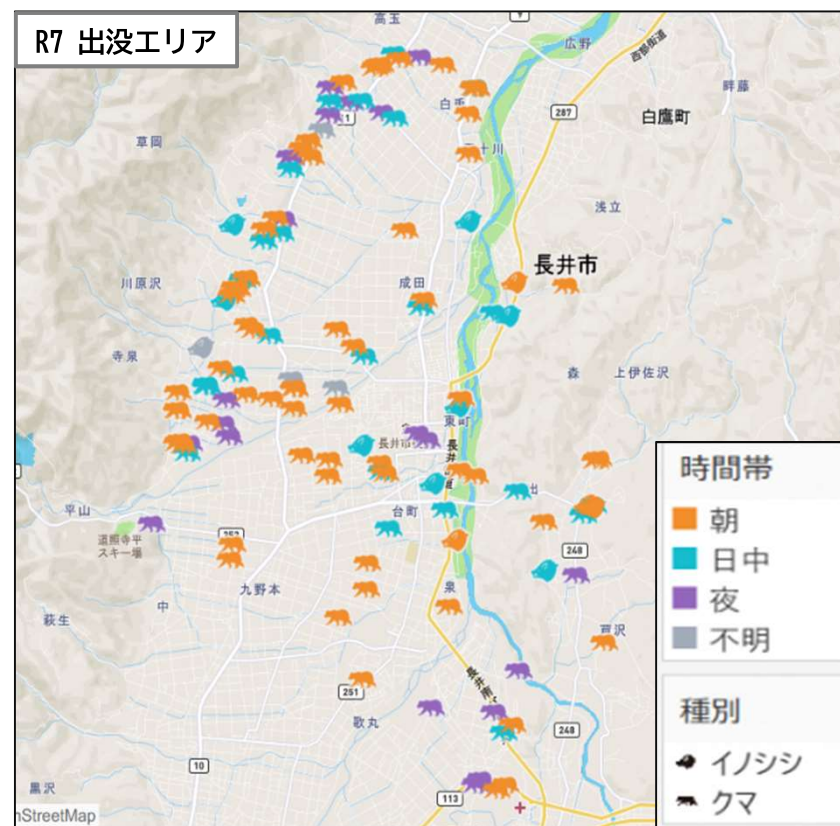
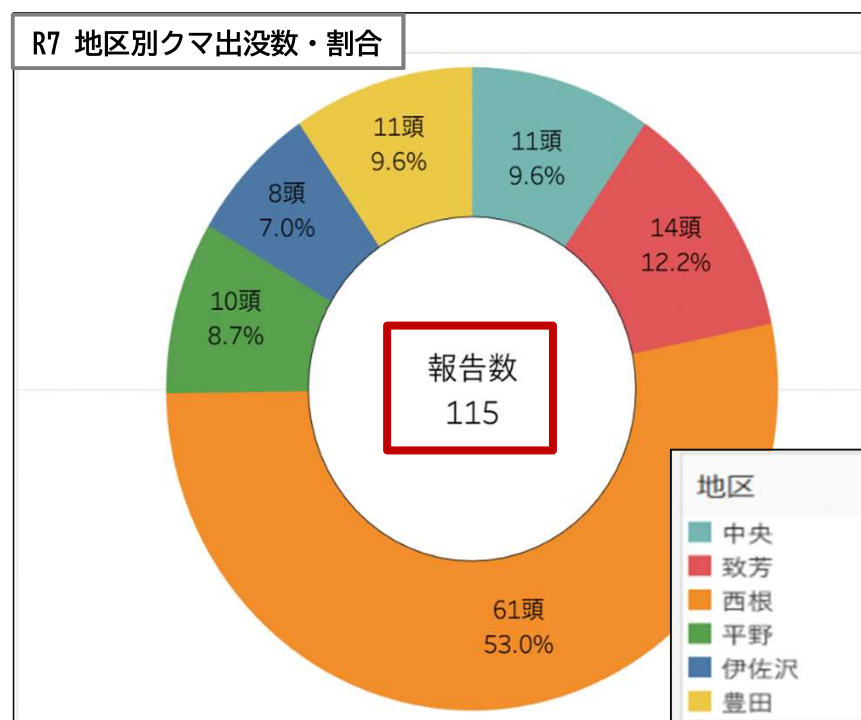
給食共同調理場に隣接する市有地に太陽光発電設備を導入

RE 100



②-2 有害鳥獣対策について

- 近年の気象状況の変化や山林、農地の荒廃により、クマやイノシシ等の有害生物の個体数や出没件数が増加し、農作物被害にとどまらず、多方面で被害が拡大しています。
- 特にクマについては、本来の生息域を超えて市街地への出没が頻繁に確認されるようになり、市民生活の安全を脅かす喫緊の課題となっています。



長井市におけるクマの出没状況 (R8.1.3 | 現在)

- 通報(現場対応)件数: **115件** ← R6 (24件)と比較して91件の増加(約**4.8倍**) ※詳細は上図参照
- モーションセンサーカメラの確認件数: **326件** ← R6 (129件)と比較して197件の増加(約**2.6倍**)

長井市における令和8年度のクマ出没対策について

令和7年度のクマ出没状況と今後の課題

状況	課題
・クマ確認件数は441件。【内訳：通報(対応)件数115件 91件増(前年比約4.8倍)、カメラ確認件数326件 197件増(前年比約2.6倍)】 ・捕獲頭数は39頭。前年度比30頭増(約4倍) ・西根地区での対応件数が全体の5割強と突出。 ・市街地への出没が増加。・市内小学校で保護者による送迎を実施。	・モーションセンサーカメラの設置個数が不足。 ・クマの出没ルートが特定できていない。 ・児童生徒の保護者送迎に係る負担が大きい。 ・河川の支障木や生い茂った藪など、クマが身を隠す場所が多い。 ・放任果樹(柿、栗等)の処理。

令和8年度のクマ出没対策(主な取り組み)

1. クマを侵入させない取り組み

- (1)電気柵の設置【農林課】●
クマ出没、目撃情報の多い地区での電気柵の設置を推進。
- (2)緩衝帯の整備【農林課】●
里山林整備：西根寺泉地区(約6ha)
緩衝帯整備：西根草岡・川原沢地区(約5ha)
- (3)不要果樹伐採事業(補助金)の拡大【農林課】●
対象本数を30本から50本に増加
- (4)光や音を発するカメラによる追い払い対策の検討【総合政策課】●
モーションセンサーカメラと連動して光や音を発することにより、市街地侵入前にクマを追い払う仕組みの検討。
- (5)クマ1頭毎の行動分析【農林課・総合政策課】●
令和7年度の出没件数117件の通過ルートをデジタルマップ上に集約。解析ツールを活用して、出没が多い箇所や通り道を特定。
- (6)デジタルツインの活用【総合政策課】●
クマ出没情報の収集、データ化を進める。
クマの行動の“見える化”を目指し、有効な電気柵設置など、クマ捕獲や封じ込めに結び付ける。

2. クマを見つける取り組み

- (1)モーションセンサーカメラ、箱ワナの増台【農林課・総合政策課】●
モーションセンサーカメラを18台から35台、箱ワナを7台から10台に増台。小規模河川への設置など出没傾向分析によるワナ設置を進め捕獲数増加を目指す。
- (2)赤外線カメラを設置したドローンの活用【農林課】●
・クマの移動ルート等の検索や生息状況の調査を行う。(猟友会との連携)
・春季捕獲時のクマの搜索や位置の把握。
・拡声器の音による追い払い、注意喚起広報の実施。
- (3)ドローンによる定期パトロールの検討【農林課】●

3. 通学時の児童生徒の安全確保対策

- (1)コミセン車両等による送迎【地域づくり推進課】●
保護者送迎を補完するため、コミセン車両等を活用した送迎計画を各地区コミセンで策定。
- (2)学校運営協議会の活用【学校教育課】●
クマ出没情報等を学校、地域と共有し、児童生徒の登下校時の安全確保についての協力体制を継続強化。
- (3)「クマ対策」の視点に立った通学路点検の実施【教育総務課・学校教育課・市民課】●
警察、道路管理者、学校、市、地区等による通学路点検体制を継続強化。

4. クマ情報発信に関する取り組み

- (1)クマ出没時の情報発信【防災危機管理課】●
・クマの出没通報が入ると同時に情報を、屋外拡声放送とおらんだラジオへの割込み放送・防災ラジオの自動起動により市内全地区へ周知。
・クマ出没情報は長井市公式LINE・HP・おらんだラジオ生放送でも周知。

5. クマ捕獲体制強化の取り組み

- (1)猟友会の体制整備支援【農林課】●
・ツキノワグマ春季捕獲委託料等の増額
・新規狩猟者免許取得支援事業の拡大
・有害鳥獣対策協議会補助の増額
(猟友会の捕獲活動、緊急銃猟に係る手当)
- (2)クマ捕獲に向けた合同訓練【防災危機管理課・農林課等】●
・庁内関係課合同訓練
・警察、猟友会等との合同訓練

凡例：●新規事業、●拡大/強化事業、●継続事業

夢を育み元気に活躍できるまちづくり

【教育・生涯学習分野】



③-1 教育・子育て



小学校給食費無償化事業・

学校給食費負担軽減支援事業

- 近年の物価高騰に歯止めがかからないことを受け、国では小学校の給食費に対する補助を令和8年度から開始しました。国の補助に加え、不足する財源を市が負担し、完全無償化を実施します。
- 中学校については、保護者負担額を据え置き、食材費高騰分を市が負担します。
- 今後も本市が掲げる「安全・安心で質の高い栄養バランスの取れたおいしい給食」を維持し、地産地消を推進するため、継続した支援を行います。



旧長井小学校第一校舎における
起業家教育



市内全小中学校にALTの配置

- 「世界を相手に挑戦できる子ども」を育てるため、英語教育や起業家教育など特色ある取り組みを実施します。
- 「安心して子育てできる環境」を整備し、子育て世代や移住者の定着に繋がります。

延べ来館者数 **83万人**突破！※R8.3月末現在
遊びと学びの交流施設「くるんと」

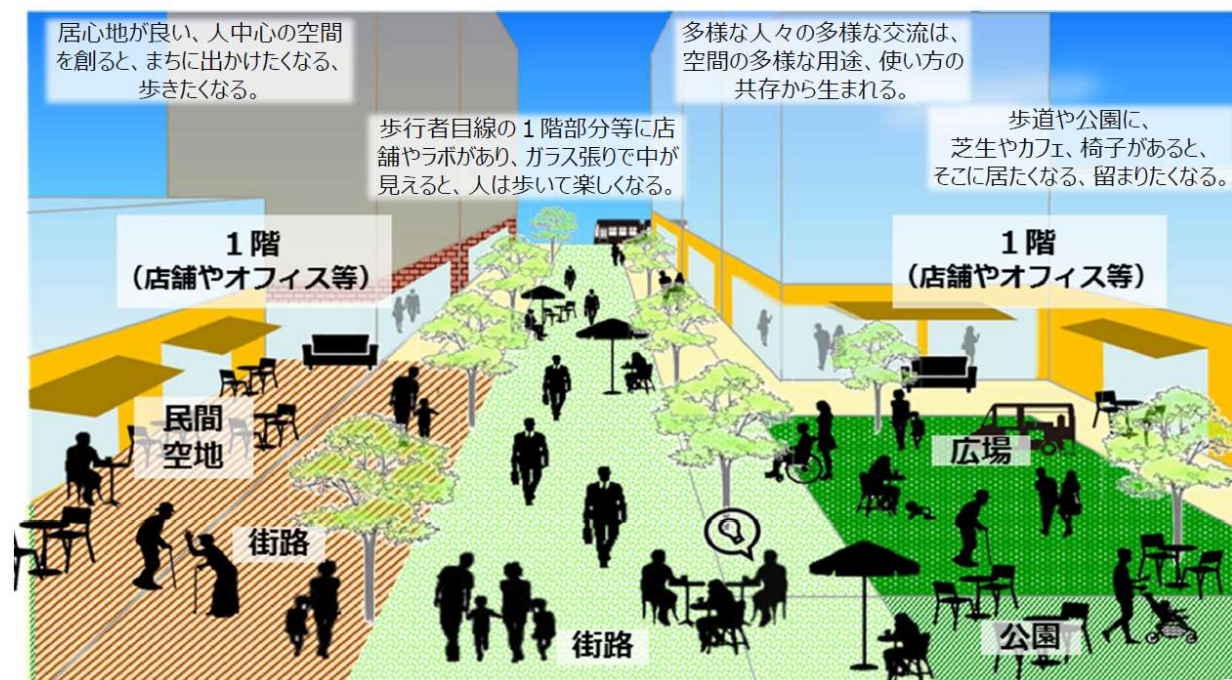


③-2 宮・小桜街区の整備

※国土交通省説明資料より抜粋

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」のイメージ

Walkable 歩きたくなる **Eye level** まちに開かれた1階 **Diversity** 多様な人の多様な用途、使い方 **Open** 開かれた空間が心地よい



【改修内容】※予定

- ①旧丸大扇屋店蔵→ミュージアムショップ
関係人口創出の場、美術品等文化財の紹介・関連グッズ販売
- ②旧丸大扇屋粉蔵→ワークショップスペース
地域の歴史・文化の紹介、文化の体験・交流の場
- ③小桜館管理棟→インフォメーションセンター
地域の文化・観光情報を提供、訪れた人の休憩の場

➤ 国選定重要文化的景観を構成する「宮・小桜街区」を中心に、まちを歩き芸術・文化を楽しめる**ウォーカブルなまち**の空間整備に取り組みます。

➤ 旧丸大扇屋店蔵、粉蔵、小桜館倉庫を改修することを検討しており、これらの整備事業を進めるとともに、文化財建造物を生かした道路、水路等と一体的なまちなみ及び文化的景観の価値を広くアピールします。



旧丸大扇屋



小桜館

産業の活力あふれるまちづくり

【産業・しごと分野】



④-1 観光交流事業の推進(やまがたアルカディア観光局)

▼令和8年1月18日(月)山形新聞掲載記事より



【4月限定】ガイドと行く！自転車“ボタリング”ツアー2026【レンタサイクル付】
¥4,000



【農家れすとらん なごみ庵】山形のばあちゃんと囲炉裏でお茶を飲み郷土料理と一緒に作る旅
¥5,500

ツアー企画の例 やまがたアルカディア観光局HPより



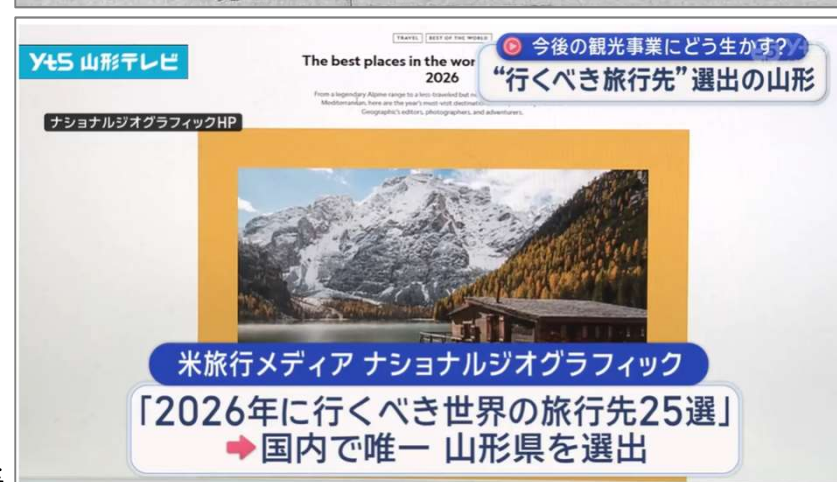
フラワー長井線 プレミアム地酒列車
¥9,800



【冬季限定】ガイドと冒険の世界へ！白山森遺跡【かつての山城】発見スノートレックツアー
¥11,000

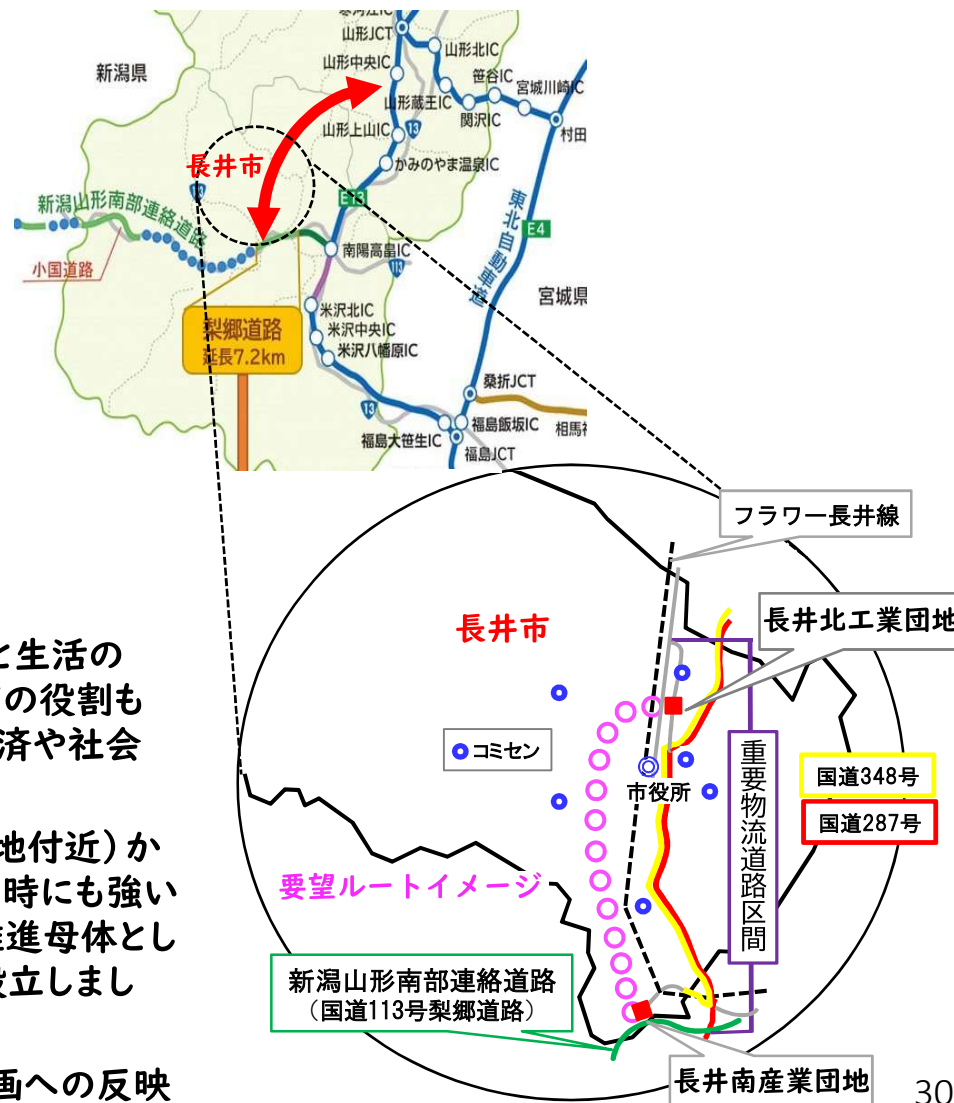
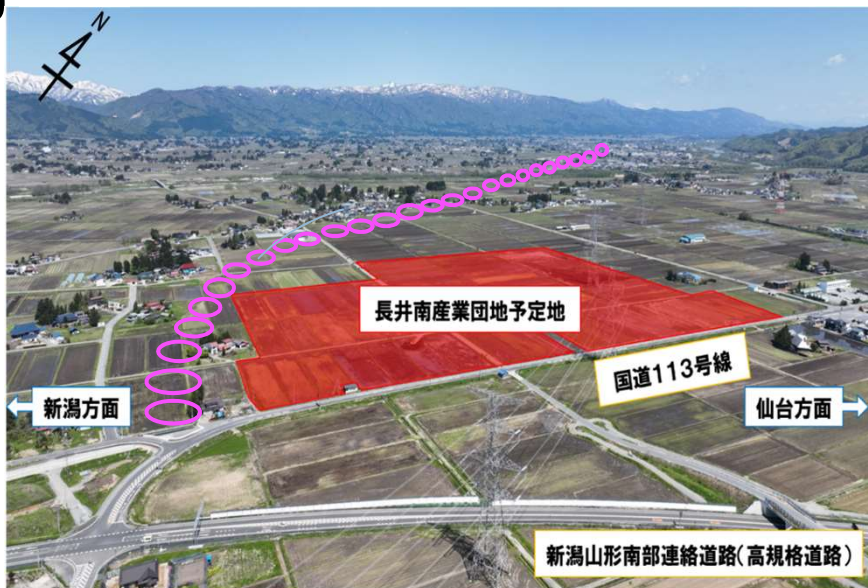
- 令和元年に南陽市、白鷹町、飯豊町と地域連携DMO「一般社団法人やまがたアルカディア観光局」を設立しました。令和3年からは、小国町が参画し2市3町で、「観光地域づくり」を進めています。
- 道の駅「川のみなと長井」を拠点に観光案内、観光商品の企画・販売に取り組み、地域外(市外)からの誘客を図ります。

▶ 令和8年2月16日(月)山形テレビ放送



④-2 長井南産業団地への企業誘致、 新たな高規格道路の整備促進

今泉地区に整備を進めている長井南産業団地は、令和7年度から分譲申込の受付を開始。令和8年度には、個別企業訪問、県等各種企業誘致関連イベント、製造業向け展示会への出展等により誘致活動を行います



- 国道287号と国道348号（重複区間）は、本市の産業と生活の基盤となる重要な幹線道路であり、重要物流道路としての役割も果たしています。しかし、市街地の渋滞等により、地域経済や社会活動の支障となっています。
- この解消に向け、国道113号梨郷道路（長井南産業団地付近）から国道348号を単独で南北に縦走・バイパス化し、災害時にも強い高規格な道路の実現を目指します。令和8年2月に、推進母体として「国道348号（長井地区）整備促進期成同盟会」を設立しました。
- 今後は市内関係団体と一丸となり、山形県道路中期計画への反映

ともに創る持続可能なまちづくり

【市民活動・行政分野】



⑤-1 株式会社八芳園との パートナーシップ協定に基づく取り組み



令和4年7月、株式会社八芳園と東京2020大会のホストタウン事業でスタートした連携を大会のレガシーとして引き続き推進していくため、パートナーシップ協定を締結しました。

【長井市内での取り組み】



タスパークホテル長井と連携し、地場産品を使ったメニューを開発することで、長井市の食と文化を次世代へ継承し、経済好循環と人口減の抑制を目指します。

【首都圏での取り組み】



首都圏での特産品の販売のほか、黒獅子やけん玉などの伝統文化や産業など体感していただくことで、関係人口を効果的に増進し、市民と市外の人との交流を創出します。



特色ある長井の食や文化のブランドを確立しながら、それらを体験できる観光コンテンツを造成し、地域資源の磨き上げと観光消費額の増加による地域活性化を図ります。

- パートナーシップ協定を締結している株式会社八芳園とは、首都圏での特産品販売や文化の紹介等、効果的な情報発信を行っています。こうした協力団体との連携を最大限に生かした様々な取り組みにより、今後とも関係人口の創出・拡大を目指します。
- タスパークホテル長井では、八芳園と連携して、地場産品を使ったメニュー開発や地域性を生かしたイベントの開催を通じて誘客コンテンツを強化し、更なる魅力化を図ります。

⑤-2 スマートシティ長井実現事業

令和3年度から実施してきたスマートシティ長井実現事業は、令和8年度から「スマートシティ長井2.0」として施策をアップデートします。市内各地に用途に応じたカメラを設置し、有害鳥獣・水害・こどもや高齢者の見守り等の対策に活用、市民生活の安全・安心を高めます。また、デジタル地域通貨「ながいコイン」による地域経済活性化の促進など、これまで成果を上げてきた施策の更なる発展を目指します。

デジタルツインの活用

現実空間にある地形や構造物（河川、道路、建物等）を仮想空間（3D空間）でリアルに再現し、3D空間上で高度なシミュレーションを行うことができる最新技術。防災・まちづくり・観光などさまざまな分野での活用が期待されています。

① 協定締結

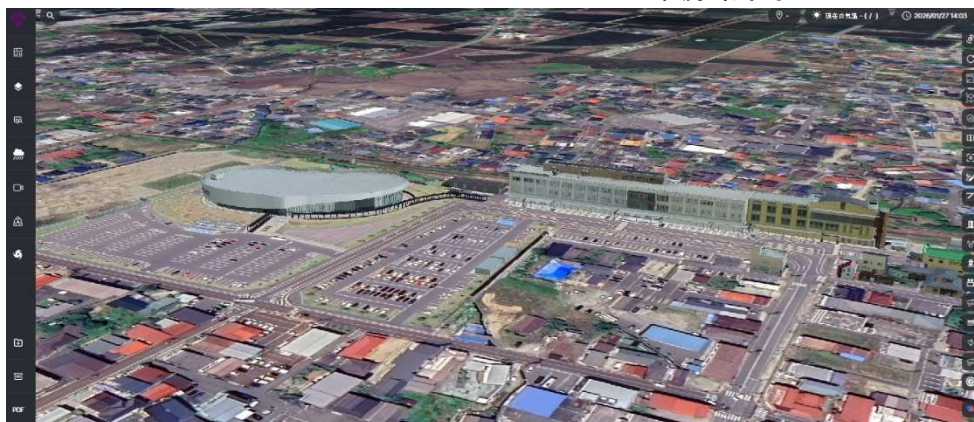
デジタルツインを防災分野に活用し、強靱かつ持続可能な地域防災の実現に向け、デジタルツインのノウハウがある民間事業者4社と連携協定を締結。



② 市内のデジタルツインを構築

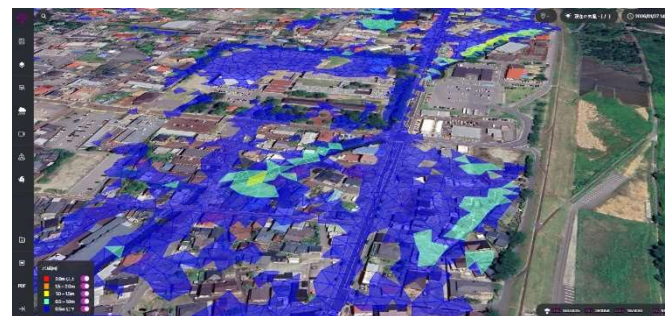
衛星写真と標高データを用いて市内のデジタルツインを構築。特に、市役所周辺や水害の危険性が高い最上川付近は、よりリアルな3Dマップを作成。

▼市役所周辺のデジタルツイン

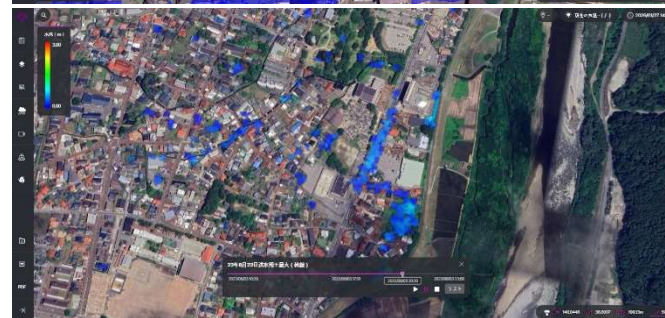


③ 防災関連データの高度化

デジタルツインにおいて、ハザードマップや過去の豪雨時における浸水範囲など、防災分野に関わる情報を可視化。降雨量や時系列に応じた浸水範囲や浸水深を把握できるため、従来ではできなかった時間ごとの避難ルートの検討等が可能となる。



ハザードマップの浸水想定を3Dマップで可視化



令和4年8月豪雨における浸水範囲も時系列で把握可能

長井市が目指す未来

－ 次世代を担う若者に選んでもらえる長井市 －

- 都市機能の充実、中心市街地活性化と支え合う地域社会づくり
- コンパクトシティと小さな拠点、地域公共交通の充実
- 「こどもまんなか社会」の推進
- ダイバーシティとインクルージョン社会の構築
(性別、年齢、国籍、宗教、障がいの有無、価値観、働き方等の多様性を互いに尊重すること)
- 次世代を担う若者が望む長井を共創する

長井市公共施設整備等について

公共建築物のうち、既存の施設については、重要度や施設の評価に基づいて設定した優先度をもとに、大規模改修等により長期間使い続けられるようにしていきます。

地域生活拠点(児童センター、コミュニティセンター)の関連施設等、前期5年(令和8年度～令和12年度)の間に方向性を検討する施設については、適宜計画を見直し、後期5年(令和13年度～令和17年度)に盛り込みます。10年間の計画期間内に方向性の検討を進める施設については次期計画に反映することとします。

【整備スケジュール】

	前期5年 (令和8年度～令和12年度)	後期5年 (令和13年度～令和17年度)
1. 既存施設	●整備対象施設〔対応方法〕 置賜生涯学習プラザ〔大規模改修〕 市営住宅〔長寿命化〕 長井小学校 第3校舎 〔トイレ改修〕 児童センター〔改修〕 文教の杜 〔改修〕	定住促進住宅〔改修〕 コミュニティセンター〔改修〕 旧市立図書館 〔解体〕 タス〔改修〕
2. 新規施設	●整備対象施設〔対応方法〕 バイオガス発電施設〔新築〕	
3. インフラ等施設	●整備対象施設 公園施設〔新設〕	

【公共建築物】

■置賜生涯学習プラザ

防災拠点の機能を併せ持つ施設として大規模改修を実施。

■市営住宅・定住促進住宅

市営住宅は長寿命化改修を進めつつ、定住促進住宅は改修(リノベーション)を実施。

■学校教育施設

令和8年度に長井小第3校舎トイレを改修。

■児童センター

改修を図りながら、地域生活拠点として小学校やコミュニティセンターとの合築や機能統合も検討。

■コミュニティセンター

平野コミュニティセンター、豊田コミュニティセンターは改修を実施し、中央コミュニティセンターは前期5年で地域生活拠点としての方向性を検討し、後期5年で建て替えを推進。

■文教の杜ながい

旧丸大扇屋・小桜館は、文教の杜全体の令和10年度リニューアルオープンに向け令和9～10年度において改修を実施。

■産業振興交流拠点施設(タス)

財源確保を検討した上で、1階の一部と6階部分を後期5年で改修。

■バイオガス発電施設

再エネ推進交付金を活用し、バイオガス発電施設を整備。

■公園施設

長井市観光交流センター川のみなと長井東側河川敷に公園整備を推進。